

事業所名

リエブラッツ阿波座

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

2月

15日

法人（事業所）理念	子どもたちが住み慣れた町で楽しく個性的で豊かな生活ができるよう日常生活を基盤にこどもの「自信」と「可能性」を広げるお手伝いをします。				
支援方針	1人ひとりの特性を「個別療育」「集団療育」「保育所等訪問支援」で支えます。 運動：からだの不器用さ、箸や定規、コンパスなど手先を使う作業の練習、姿勢の調整。認知機能：正しく見る、聞く、理解する、想像することの練習。 ソーシャルスキル：感情のコントロール、自分の感情に気付くなど自己理解を深め、日常生活の困り事についてどのように行動すれば良いかを一緒に考えます。				
営業時間	9時 10時	0分から	18時 19時	0分まで	送迎実施の有無 あり なし ※個別療育は送迎なし
支 援 内 容					
本人支援	個別療育		集団療育		保育所等訪問支援
	★様々な活動を通して生活に必要なライフスキル（意思決定、身だしなみ、対人関係、金銭管理、余暇など）を学びます。				
	健康・生活		外出、季節行事、公園遊び、映画、クッキング カラオケ、プール、金銭管理（お小遣い制度）など		身辺活動（トイレ、食事、着替え、学習） 余暇活動、クラブ活動などの参加方法を提案。
	★作業療法士の視点を取り入れ、感覚遊びや感覚特性に応じた環境設定や活動を行います。				
	運動・感覚		買い物、公園遊び、スクラッチアート、サンドアート、 制作、クッキング、カラオケなど		集中して授業に参加できるよう姿勢を整えるための 座面クッション、感覚グッズや座席の位置などの 環境調整、体育の参加方法などを提案。
	★自己理解を深めるために自分の得意なこと、苦手なことに気付き、苦手な場面での対応策を一緒に考えていきます。				
	認知・行動		全体指示やスケジュールを確認して行動できる。 周りの様子に気付く、全体を見て行動できる。		授業に集中できているか全体指示を聞いているか どの場面で躓いているかを分析し解決策を提案。
	★困った時に相談する、自分の思いを伝える、相手の気持ちを理解するために「個別療育」「集団療育」「保育所等訪問支援」で連携して練習します。				
	言語 コミュニケーション		主体性を育むためプログラム決めの多数決。 （多数決を行い、子どもたちで集団療育の内容を選択。） おこづかい計画表を用いておやつ代の管理。		ご本人が理解しやすい伝え方、提示の仕方を提案。 例）見通しが分かりやすいスケジュールなど。 学校生活での対人トラブルについてご本人、保護者、 先生と多職種で連携し解決策を提案。
	人間関係 社会性				
家族支援		半年に1回のモニタリング、随時相談受付。（事業所内、家庭） ペアレントトレーニング。 サポートブックの作成。		移行支援	小学校から中学校、支援学校への移行支援。 （移行先の職員と担当者会議など）の実施。
地域支援・地域連携		保育所等訪問支援事業実施、大阪市西区子ども部会参加。 他事業所との関係機関連携。		職員の質の向上	毎週の小児勉強会（講義、実技、症例検討） 月1回小児分野ベースアップ・アドバンス研修 ケース共有随時。
主な行事等		大型イベント（映画館、カラオケ、イオンモール、大阪城公園などに外出）、避難訓練。 他事業所との合同イベントで異年齢との交流。 夏祭り、区民プール、ハロウィンパーティー、クリスマス会、お正月遊びなど季節行事。			